

# アジア学院の学生 / 研究科生

## 2016 年度

The Class of ARI 2016

### 農村指導者研修プログラム

Rural Leaders Training Program

#### 中央アフリカ共和国 CENTRAL AFRICAN REPUBLIC



ポール・ダイナ  
Mr. Paul Daina

中央アフリカ ルーテル教会  
Evangelical Lutheran Church in CAR  
(EEL-RCA)

農村開発指導員  
Rural Development Coordinator

① ポール Paul

② 私は受益者に、農業技術、特に土地の選び方、土作りの方法、活動計画の立て方、農作物の販売利益の管理を教えています。アジア学院の研修に参加することで、様々な国から来ている仲間の経験から学び、私の地域に活かしていきたいです。

① ニックネーム ARI Nickname

② 活動内容 Activities

#### ブータン BHUTAN



サンゲイ・ワンディ  
Mr. Sangay Wangdi

農業省 自然農業プログラム  
National Organic Program

農業指導員  
Agriculture Coordinator

① サンゲイ Sangay

② 私はブータンのなかでも、人里から離れた地域の小規模農家の人たちに、持続可能かつ有機的な作物の育て方や、新しい農業技術を指導しています。アジア学院では、複合農業や持続可能な農業の方法について学びたいです。



カルマ・チュキ  
Ms. Karma Chuki

農業省 自然農業プログラム  
National Organic Program

農業指導員  
Agriculture Coordinator

① カルマ Karma

② 私はブータンの民族的に多様な地域で、農業の総合的な発展と作物の有機栽培を広げるため、小規模農家の人たちと密接に関わりながら働いています。アジア学院では有機農業の様々な実践をすることで、新しい知識と技術を習得したいです。

## 学校法人 アジア学院

は、1973年の創立以来アジア、アフリカ、太平洋諸国等の農村地域から、その土地に根を張り、その土地の人々と共に働く「草の根」の農村指導者(Rural Leader)を学生として招き、栃木県那須塩原のキャンパスで、国籍、宗教、民族、習慣、価値観等の違いを認めつつ、公正で平和な社会実現のために、実践的な学びを行っている学校です。

9ヶ月間の農村指導者養成の研修は、いのちを支える「たべもの」作りにこだわり、有機農業による自給自足を基本としています。学生たちは座学、ディスカッション、見学研修、グループ単位での農場運営を通して、自国のコミュニティの自立を導くリーダーシップを養います。

アジア学院では、研修を受ける金銭的な余裕のない草の根で働く人々に研修の機会を与えるため、海外からの学生渡航費、研修費をほぼ全額負担しています。

そしてこのアジア学院の活動は、皆様のご厚意と寄付によって支えられています。



Asian Rural Institute

## インドネシア INDONESIA



**マチルダ・ナインゴラン**  
Ms. Matilda Nainggolan

**バタックプロテスタント教会**  
HKBP Samosir

**ソーシャルワーカー**  
Social Worker

- 1 マチルダ Matilda
- 2 私の両親は教師で、家庭菜園をしていました。私の教育と自然への愛は彼らから受け継いだものです。私は、HIV/エイズ患者がより健康な食生活や人生を送れるようになるための手助けをしています。また、若者が都市での生活より村の生活を選ぶようになるため、食べるだけでなく収入にも繋がる、体に良い作物の育て方を教える必要があると思っています。アジア学院の研修はこの目標を達成する助けになります。



**ヒエロニムス・マルティアディン・ンガンブ**  
Br. Hieronymus Martiyadin Ngampu

**クラレチアン宣教会**  
CMF, Independent Delegation of Claretian Missionaries

**修道士**  
Brother

- 1 ヒエロン Hieron
- 2 私は様々な穀物の種子を農家に配布しています。そして農家の人たちが土壌や畑を改良し、自立できるように人々を動員し、自ら行動できるよう働いています。乾燥した土壌の改良方法を学び、地域を効果的に支援できるように有機農業の知識を深めたいです。



**パスカリア・イマヌエル・ペランギンアギン**  
Rev. Paskaria Imanuel Perangin-angin

**カロ・バタック・プロテスタント教会**  
GBKP, Gereja Batak Karo Protestant

**牧師**  
Pastor

- 1 イマヌエル Imanuel
- 2 私はインドネシアの僻地で15年間牧師をしてきました。大規模な火山噴火により農業不適切地になってしまいましたが、新しい有機農業の普及に努めてきました。アジア学院での学びに則り、健康で持続可能な地域を再建するために必要な知識と技術を教会員に教えたいです。

## ザンビア ZAMBIA



**ベルビン・カペンブワ・パンバ**  
Mr. Belvin Kapembwa Pamba

**ザンビア村落水利協会**  
Village Water Zambia

**研修コーディネーター**  
Training Coordinator

- 1 ベルビン Belvin
- 2 私はザンビアのヘイファー国際村落水道局で、複合農業の指導、プロジェクトの定期観察と評価を行っています。アジア学院のトレーニングでは視野を広げ、複合農業に関する知識を増やし、農村の発展に効果的に貢献していきたいです。

## マラウィ MALAWI



**トウエラ・ムタンボ**  
Ms. Towera Mtambo

**チンガル復興開発プログラム**  
CHINRAD, Chingale Recovery and Development Program

**農村開発指導員**  
Rural Development Coordinator

- 1 トウエラ Towera
- 2 私はCHINRADという団体に心理カウンセラーとして、3~5歳の子供が小学校に入れるよう、コミュニティで運営する幼児教育グループの活動に従事しています。私は私を必要とする場所で奉仕します。また、コミュニティの外から資材を購入・調達するのではなく、資材を地域内で調達することを含めた食糧保障や持続可能な農業にも携わっています。



**セシリア・ンピンガ**  
Ms. Cecilia Mpinga

**衛生管理プロジェクト**  
Hygiene Village Project

**農村開発指導員**  
Rural Development Coordinator

- 1 セシリア Cecilia
- 2 私は貨幣経済の外で生活する、様々な宗教を持った農村の人々と共に働いています。私の団体は公衆衛生のプロジェクトを完了したところです。アジア学院では人に仕える指導者の考え方や実践的な有機農業を学び、自分たちのコミュニティに普及していきたいです。

## ガーナ GHANA



**ポール・ヤオ・パイ**  
Mr. Paul Yao Kpai

**環境開発青年運動**  
EDYM, Environmental Development Youth Movement

**企画調整員**  
Project Coordinator

- 1 パウロ Paulo
- 2 私は、持続可能な農業を通して、環境を大切にすることを次の世代に教えています。たとえば育苗や、食の安全保障のために自給自足を目指した作物栽培などです。アジア学院では、様々な国から来ている仲間と共に学ぶことを通して、管理能力や農業技術を磨きたいです。



**エイブラハム・ブラッセ**  
Mr. Abraham Brese

**オスラマネ養蜂連盟**  
OBA, Osramanae Beekeeper Association

**農業**  
Farmer

- 1 エイブラハム Abraham
- 2 私はガーナのオスラマナイに住んでいます。妻と子どもたちと農家を経営し、良い結果を出すことができています。畜産と養蜂をしており、私の養蜂技術、農業技術を用いて地域の貧困を減らし、仕事を増やして、他の地域のためのモデルを作り上げていきたいです。

## フィリピン THE PHILIPPINES



**ジョー・バリスピサン・ヘメネズ**  
Mr. Joe Balisbisan Jimenez

**聖心会 変革のための研修センター**  
SHIFT, Sacred Heart Institute for Transformation

**農業指導員**  
Agriculture Coordinator

- 1 ジョー Joe
- 2 私たちの農場施設では、野菜の生産、研修や販売などを行っています。私はリーダーシップや有機農法を広めていきたいと考えています。2013年にアジア学院を訪れた際にはスタッフの姿勢や知識にとっても感銘を受けました。私は研修を通して多くの影響や自信を得られると思っています。

## ミャンマー MYANMAR



**スイ・リアン・タン**  
Rev. Sui Lian Thang

**ファルンゴランド開発機構**  
HLDO, Hualngso Land Development Organization

**牧師**  
Pastor

- 1 スイア Suia
- 2 地球が健やかであればこそ、そこに住む人も健やかでいられるのだと思います。アジア学院での研修を終えミャンマーへ戻った後は、2014年卒業生のニサンと共にモデル農場の開発を続けます。それが近隣農家を農業や化学肥料に頼る農業から有機農業へと移行していく手助けになることを願っています。



**トゥラ・スン**  
Rev. Thla Sung

**北部ミャンマーメソジスト教会 ハカ支部**  
MCMUM Hakha, Methodist Church Upper Myanmar

**牧師**  
Pastor

- 1 ア・スン A Sung
- 2 私はミャンマーの農村地域に住んでいます。道も悪く、高地にあり、研修を受けるためには長距離の移動をしなければなりません。私は村の人々と会い、精神的な問題や彼らの生活について、話を聞き助けています。仕事の一つには、自然の肥料を作る手助けも含まれています。研修後はアジア学院で学んだ新しい技術を広く農家に伝えたいです。



**ヨー・リン**  
Rev. Yaw Ling

**北部ミャンマーメソジスト教会 ミンダット支部**  
MCMUM Mindat, Methodist Church Upper Myanmar

**牧師**  
Pastor

- 1 ヨー・リン Yaw Ling
- 2 私どものコミュニティでは焼畑農業が行われていますが、これからはもっと持続可能な方法へ移行していく必要があります。私はアジア学院でそのための知識と実践的な技術を得たいと願っています。少数民族として、自分のコミュニティの発展のために、人々の団結と協働を手助けできるリーダーシップを養いたいと思っています。

## スリランカ SRI LANKA



**イエヘロム・マイケル・ワンニエバンダーラ**  
Rev. Yeherome Michael Wanniyabandara  
スリランカ メソジスト教会  
Methodist Church Sri Lanka

牧師  
Pastor

① イエヘロム Yeherome

② 私は牧師としてテムゴダラ地域の五つの教会を担当しています。また「メソジスト少女の家」という孤児院の管理もしています。更に環境保全と人権運動にもたずさわり、農民たちを指導しています。アジア学院の研修後は、私の地域に有機農法を紹介し、研修センターを設立したいと思っています。



**サマン・ラトナシリ・バンダーラ**  
Mr. Saman Rathnasiri Bandara

ヴィスラ開発財団  
Visura Development Foundation

農村開発指導員  
Rural Development Coordinator

① サマン Saman

② 私は農業調査員として有機農業の普及、他宗教の相互理解、女性の食に対する権利の獲得などをする活動を行っています。アジア学院で得た技術で、私は知識の共有をし、若い世代に農業を勧め、もっとコミュニティのために働きたいと思っています。

## ケニア KENYA



**コンソラータ・アミシ・カカアリ**  
Sr. Consolata Amisi Khakaali

聖心会  
Society of the Sacred Heart of Jesus

教師、農業指導員  
Teacher & Agriculture Coordinator

① コンソ Conso

② 私はアジア学院での学びを通して、温室栽培、野菜生産、農場経営の知識を増やしたいと思っています。それがひいては聖心会の働きのための財政基盤を強め、活動を強める力となるとと思っています。

## インド INDIA



**アトン・シャイザ**  
Ms. Aton Shaiza

開発における女性活動  
AWID, Action of Women in Development

農村開発指導員  
Rural Development Coordinator

① アトン Aton

② 私は、女性の権利擁護と指導能力を高めるためのワークショップを行っています。また所属団体の活動として地域の村に SRI 農法（稲作の稚苗の1本植え）を広め、家庭菜園の導入を勧めています。アジア学院では、持続可能な農業、リーダーシップ、開発問題について学びたいです。

## タンザニア TANZANIA



**ムイタ・バイタ・マテレ**  
Mr. Mwita Baita Matele

タンザニア メソジスト合同教会  
GBGM, United Methodist Church of Tanzania

企画調整員  
Project Coordinator

① ムイタ Mwita

② 私には達成すべき明確な目標があります。私のコミュニティには貧しくても素晴らしい資源があります。農民たちがこの身近にある豊かな資源が何かを理解し有効利用できるようなし、実用的な研修を供与すること、そして地域が発展することを望むことはアジア学院の精神に共通しています。



**ヘブンライト・モリス・ルオガ**  
Mr. Heavenlight Morice Luoga

農業協働イニシアチブ  
FPI, Farming Partnership Initiatives

企画調整員  
Project Coordinator

① ヘブンライト Heavenlight

② 私は団体の共同創設者として、農業生産改善、食の安全、融資や研修を通して農村部の生活改善を行っています。私はアジア学院でリーダーシップや農場運営の技術を磨き、自分の団体やカラゲ地方の他の団体に広めていく活動をしていきたいです。

## カメルーン CAMEROON



**チアンバ・エノック・ンタン**  
Mr. Chiambah Enock Ntam

ベロ農村開発連盟  
BERUDA, Belo Rural Development Association

農業指導員  
Agriculture Coordinator

① エノック Enock

② 私は、小作農家が貧困から抜け出すために、養蜂、小規模融資を指導し、プロジェクトを管理しています。アジア学院では、痩せた土地を豊かにする方法を学び、帰国後は職業訓練センターを立ち上げたいと思っています。



**クンボン・ステラ・カン**  
Ms. Kumbong Stella Kang

障がい者リハビリテーション協会  
ARCH, Associated Rehabilitation for the Handicapped

農業  
Farmer

① ステラ Stella

② 私は農家として団体に所属し、地域のコミュニティ、病人や働き手が食べていくための作物を育てています。アジア学院では、作物の収穫量を増やす方法や持続可能な農業を学びたいです。



**フォンサ・パイウス・チック**  
Mr. Fonsah Pius Chick

持続可能な環境と男女参画開発のための地域主導活動  
CISEGD, Community Initiative for Sustainable Environment and Gender Development

農村開発指導員  
Rural Development Coordinator

① パイウス Pius

② 私は、化学肥料、農薬、持続不可能な農業によって引き起こされた、農地への有害な影響を転換するために、カメルーン北西部の小規模農家(特に女性)に持続可能な農業を教えています。アジア学院では、作物の肥沃化、病害虫防除、農業組合について学びたいです。

## 日本 JAPAN



やざわ ゆうと  
**谷澤 悠人**  
Mr. Yuto Yazawa

### 研究科生 卒業生インターン Graduate Intern

アジア学院の日本人卒業生は、卒業の次年度に研究科の卒業生インターン (GI) に応募する資格をもちます。卒業生インターンは特定の一分野に焦点を当てて、その分野のより深い理解と幅広い経験を培います。さらにアジア学院の構成メンバーとして、生活のあらゆる場面において重要な役割を担います。

① ゆうと Yuto

② 2015年度の研修を経て、さらに有機農業の技術と知識を習得したいと考えています。また将来、農村の開発に自分自身が関わり続けるときのために、異文化とコミュニケーションについてさらなる理解を深めたいと思います。



レンタ・ングリエ  
Mr. Rentta Ngulie

リャンマイ・バプテスト連盟  
Liangmai Baptist Association

牧師  
Pastor

① レンタ Rentta

② 私は1997年度のアジア学院の研修を終えて帰国した後、牧師となり、農業問題に携わるNGO (Comprehensive Rural Economic Development Society) の立ち上げに関わりました。また、ナガランドの農民たちが知識を得、お互いに協力できるように農民クラブを設立しました。最近では、教会と政府が共同で村に非公式の学校を設立し、地域の80%の子どもたちが通っています。

(1997年度卒業生)



アニー・ジェーン・ラガワン  
Ms. Annie Jane Lagawan

水・森林農法・栄養・開発基金  
WAND Foundation, (Water, Agro-forestry, Nutrition and Development Foundation)

企画調整員  
Project Manager

① アン Ann

② 生活改善担当者として、新しいことに挑戦したい人々を対象に有機農業を教えました。これを見て確信した近隣の人々が有機農業に挑戦しています。また、超大型台風で洪水災害に見舞われた地域に11,000基のトイレを設置する事業を担当しました。この機会に学ぶ新しい技術と知識を持ってまた自分の団体に貢献したいです。

(2010年度卒業生)



マクドナルド・ンジャラ・バンダ  
Mr. Macdonald Njala Banda

マラウィ聖公会 シレ高地地区  
Anglican Diocese of Upper Shire

司祭  
Pastor

① マクドナルド Macdonald

② 私はレイ・トレーニングセンターで教会の仕事と共に女性の経済的自立のために働いています。私はTAとして、卒業生の視点からより多くの技術を深めていきたいと思っています。国に帰ったら、そのセンターの女性の卒業生に、村レベルでのプログラムの設立や拡大に参加してもらいたいと思っています。

(2010年度卒業生)

研究科生 トレーニング・アシスタント

Training Assistant

研究科生は学院を卒業後5年以上自国で働いている卒業生の中から選ばれます。学院において自分の専門分野の研修を行うと同時に、職員を補助して学生の研修を助けます。

アジア学院の卒業生

アジア学院研修を卒業するリーダーたちは自国で農業を中心とした農村開発に取り組んでいると思いがちですが、実際はそれ以外の幅広い分野で働いています。環境保護、子供教育、小口金融に関わる卒業生もいれば、女性や原住民の権利や難民支援のために活躍する者もいます。アジア学院が理想とする仕える指導者としてその時その場のニーズに応じて、「共に生きる」精神を世界中に広めています。

1,334名 / 1,334 persons

東南アジア農村指導者養成所

・卒業生 116名・17ヵ国

アジア農村指導者養成専門学校

・本科生 1,135名・56ヵ国

・研究科生 83名



サポーターとして世界の農村指導者と彼らの未来に投資

途上国から来る学生たちの学費は、皆様のご支援によって成り立っています。学生一人当たりにかかる年間費用は授業料と生活費が172万円と渡航費25万円(平均)。サポーターとして継続的に世界の農村リーダー養成にご支援頂ける方を募集しています。詳細はお電話又はウェブからお問い合わせください。

2016年度 奨学金支援団体

アジア農村交流協会、アメリカ福音ルーテル教会 (ELCA)、新倉会、日本キリスト教協議会 (NCCJ) 女性委員会\*、大阪コミュニティ財団、聖コロナン会、聖心会、ウェスレー財団、東京聖トモテ奉仕奨学金、カナダ合同教会、あすなろ基金、世界キリスト教協議会 (WCC)、五十嵐基金、東京アメリカンクラブ、アジア学院サポーターの会、英国メソジスト教会 (MCB) 合同メソジスト教会世界宣教局 (GBGM)、東京南ロータリークラブ、アメリカンスクール イン ジャパン水泳部\*、日本福音ルーテル社団 (JELA)、まちづくり地球市民財団\*、日本学生支援機構 (JASSO)、北米アジア学院後援会 (AFARI)

\* 申請中 (5月1日現在)



学校法人 アジア学院  
アジア農村指導者養成専門学校  
〒329-2703  
栃木県 那須塩原市 槻沢 442-1  
TEL 0287-36-3111 FAX 0287-37-5833

Asian Rural Institute  
Rural Leaders Training Center  
442-1 Tsukinokizawa, Nasushiobara,  
Tochigi, 329-2703 JAPAN  
TEL +81-287-36-3111 FAX +81-287-37-5833

EMAIL info@ari-edu.org  
FACEBOOK 学校法人 アジア学院  
WEB www.ari-edu.org